

行数

↓

読み
仮名
あり

↓

【第5章】戦後日本の枠組み-天皇、憲法、東アジア-

5. 東アジアと冷戦構造-敗戦と占領のイメージから- (p. 138)		
3	*	流布 るふ 世間に広まること。広く行われること。
4		降伏 こうふく 戦いに負けたことを認めて、相手に従うこと。降参。
5	*	玉音 ぎょくおん ①天皇の声。 ②玉のように清らかで美しい音や声。
6	*	鼻声 はなごえ ①風邪などで鼻の詰まったときの声。 ②甘えたときに出す鼻にかかった声。
7	*	直立不動 ちょくりつぶどう まっすぐに立って少しも身動きしないこと。
8		うなだれる 心配・落胆・悲しさ・恥ずかしさなどから力なく首を前に垂れる。
9	*	詫びる わ-びる 相手に迷惑をかけたことをすまなく思い、許しを求める。あやまる。謝罪する。
11		艦上 かんじょう 軍艦の上。
16	*	元帥 げんすい ①諸将の統率者。全軍の総大将。 ②軍人の階級の最高位。大将の上に位する。
18	*	擁護 ようご 危害・破壊を加えようとするものから、かばい守ること。
24	*	骨抜き ほねぬ-き ①節操（自分の信念をかたく守って変えないこと）をなくさせること。②計画・案などから肝心の部分を抜き取り、内容のないものにする こと。
27		死角 しかく ①ある角度からはどうしても見えない範囲。 ②身近にありながら、気がつかない事柄。③銃砲の射程距離中にありながら、障害物や銃砲の 構造上の理由などのため、射撃できない範囲。
27		相似 そうじ 互いに形や性質が互いによく似ていること。
33		ダイナミクス ①原動力。 ②力学。動力学。
34	*	称える たた-える 優れているとほめること。
46		秩序 ちつじょ 社会の諸要素が相互に一定の関係・規則によって結びつき、調和を保っている状態。
48	*	惨禍 さんか 風水害・戦争・火災などによる、むごたらしい（目をそむけたくなるほどひどい）被害。
49	*	銃剣 じゅうけん ①銃と剣。 ②小銃の先につける短い剣。通常は腰につるし、戦闘や儀式などの際に銃の先端に装着する。
53	*	矮小化 わいしょうか 小さくすること。
54		宗主国 そうしゅこく 従属国に対して宗主権をもつ国家。他国の内政・外交などを支配・管理する権能。植民地などが独立する過程で、本国がその植民地に対し てもつ例が多い。
58		忘却 ぼうきやく 忘れ去ること。忘れてしまうこと。
64	*	恒久的 こうきゅうてき いつまでもその状態が続くさま。